



きよさとっ子

コロナ禍を経た今、そしてこれから

校長 遠藤 哲也

新年度がスタートして間もなく、上越市内でインフルエンザが流行し、当校でもゴールデンウィーク前に学年閉鎖が相次ぎましたが、再び子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。保護者の皆様には、閉鎖時の対応や感染対策等にご協力いただき、ありがとうございました。

さて、皆様も報道等でご承知のとおり、5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが変更され、季節性インフルエンザと同様に「5類感染症」となりました。手洗い、こまめな換気など基本的な感染防止対策は大きく変わることはありませんが、特に学校教育上で、主に変更された内容は以下のとおりです。

- 出席停止の期間 「発症した後5日を経過し、かつ症状軽快後1日を経過するまで」
※無症状の感染者は、「検体を採取した日から5日を経過するまで」

【例】

日付	5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23
日数	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
(例1)	発症			症状軽快	軽快後1日目		登校可能		
(例2)	発症				症状軽快	軽快後1日目	登校可能		
(例3)	発症						症状軽快	軽快後1日目	登校可能

- かぜ症状（発熱や咽頭痛、咳等）がある場合について

これまでの対応	5月8日以降の対応
新型コロナウイルス感染症の疑いがあることから出席停止扱い	欠席扱い。ただし、新型コロナウイルス感染症の陽性が判明したら、遡って出席停止
同居家族等の陽性により濃厚接触者となった場合は出席停止	濃厚接触者の特定は行われないことから、感染症が確認されていないものについては、直ちに出席停止の対象にならない。

なお、感染が急拡大している時期など、時期や場面によっては、これまでの取組を参考に感染対策を行うこととされており、4月はこれに準じてマスクの着用等をお願いした次第です。

このコロナ禍を経て、新しい学校生活の様式を取り入れるとともに、その都度「最適解」を模索しながら教育活動を継続してきました。そして、感染した人の心を傷つけることなく、体調を気遣い、早い回復を願うみんなの心の温かさが、最も大切であることを改めて感じる機会となりました。

これからも、子どもたちの心身の健やかな成長を育むためにも、みんなで声をかけ合い、心を配りながら、「あい（愛）」のあふれる清里小学校、清里区をつくっていったら幸いです。今後も、保護者・地域の皆様からのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



4月、5月のトピック

4月17日 春のあいさつ運動

小中学生、青少年育成会議の皆様が一体となった、春の小中合同あいさつ運動。明るく、さわやかな声が響き渡った1週間でした。



4月20日 朝の読み聞かせ

木曜日の朝の時間は、ボランティアの皆様が様々な本を読んでもいただきます。想像力や集中力を育む素敵な時間が、今年度も始まりました。



4月21日 交通安全教室

駐在官、安全指導員、ボランティアの皆様から指導していただき、1・2年生は安全な歩行の仕方、3・4年生は正しい自転車の乗り方を学びました。



4月22日 春の奉仕作業

保護者の皆様から協力いただき、グラウンドの整備や安全ネットの取付けなど1時間で外回りの環境が整いました。早速外で元気に遊ぶ姿が見られます。



5月9日 稲文字田植え“志”

全校での田植えは4年ぶり。5年生がリーダー、6年生がフォローとなって、地域の皆様の助言を得ながら、楽しくにぎやかに植えることができました。



5月11日 1年生を迎える会

全校84人そろって対面で行うことができました。1年生が楽しめるように、6年生を中心にどの学年も役割を果たし、和やかな時間となりました。



小中学校合同学校運営協議会を開催しました



5月11日（木）小中学校合同第1回学校運営協議会を行いました。ふるさとを愛する児童生徒の育成を、ふるさと清里の人・もの・ことなどの教育資源を有効に活用し、学校、地域、家庭が一体となって行うことなど有意義な熟議が行われました。

子育ての悩みを相談しませんか ～1階視聴覚室へどうぞ～

水曜日 13:00～16:00 は、隔週で学校訪問カウンセラーの岩島先生が来校し、児童、保護者へのカウンセリングや相談を行います。悩んでいることを抱え込まずに相談することで、解決への糸口が見えてきます。秘密は固く守られますので、安心しておいでください。ご希望の方は、担当の山岸養護教諭または学級担任に連絡（学校 528-4634）してください。



HP
随時
更新
中